



2024年11月13日

各位

会社名 トヨクモ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次
(コード番号：4058 東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 石井 和彦
ir@toyokumo.co.jp

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月14日に公表した2024年12月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,000	百万円 1,000	百万円 1,000	百万円 690	円 銭 63.29
今回修正予想 (B)	3,100	1,100	1,100	760	69.71
増減額 (B-A)	100	100	100	70	-
増減率 (%)	3.3	10.0	10.0	10.1	-

※ 2024年12月期より連結決算のため、前年実績の記載は省略しております。また、当期予想の1株当たり当期純利益は、2024年9月末時点における発行済株式数、自己株式数を考慮しております。

2. 修正の理由

当社は「すべての人を非効率な仕事から解放する」というミッションの下、企業向けクラウドサービスを開発し、非効率な仕事から働き方を変革する DX サービスを提供しています。当社の主力サービスのひとつである安否確認サービスに関して従前よりブランディングのために、広告宣伝を積極的に投下していたところ、本年 1 月に発生した能登半島地震の発生以降、安否確認サービスの問い合わせ並びに契約数が大幅に増加しました。

また、サイボウズ株式会社の業務アプリをつくることのできるクラウドサービスである kintone が順調に拡大する中、当社の kintone 連携サービスも認知の広まったことから契約数が予想を上回って推移しました。その結果前回発表予想と比べ 100 百万円増加し、売上高は 3,100 百万円となる見通しです。

費用面につきましては、人件費において一部採用が後ろ倒しとなったことから計画より 110 百万円程度減少する見込みですが、広告宣伝費は 140 百万円程度追加し積極的に投資を行う予定です。その結果、利益項目につきましては、営業利益は前回発表予想と比べ 100 百万円増加し 1,100 百万円、経常利益は同比 100 百万円増加し 1,100 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同比 70 百万円増加し 760 百万円となる見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上